

みやぎ社保協 FAXNEWS

2020年10月30日 Fri No.827

「人権としての社会保障制度」 の運動推進を！

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-5-13
宮城県社会保障推進協議会
Tel 022-223-0566 / Fax 022-223-0977
e-mail miyagisyahokyo@bz04.plala.or.jp

県南社保協 第6回総会 被災地支援、社会保障改悪を許さない取り組みを決意！



10/24（土）県南社保協第6回総会（於：はらから福祉会本部）が開かれ、各団体・地域から10名が参加しました。

代表から「台風19号水害被害やコロナ禍で活動が停滞してきたが、一歩でも前進させていこう」と挨拶。議案・決算・予算役員の定期を行い、参加者の拍手で承認されました。総会后、自治体キャラバン事前学習会も行われ、県南2市7町の国保の現状や、要請内容について、県社保協より提案・解説が行われました。

（写真左上／開会の挨拶を述べる安藤代表（中央））

保育関係6団体「福祉職員慰労金」問題で宮城県への要請 「村井県知事も福祉現場に来て現状を見てください！」



10/26（月）保育関係6団体連名で「福祉職員への慰労金支給」を求め、関係団体から9名が参加しました。県側担当者3名が対応し県議2名が同席。

国は福祉職員への「慰労金」支給の対象にせず、仙台市独自支援実施予定をする中、同じ方法人でも仙台市以外の保育所では慰労金がもらえないという状況が発生することを受けて、県に対して独自の施策を求めました。また、現場からも「毎日が緊張の連続」「子どもたちと接触しない時間はない」とコロナ禍での深刻な現状が語られました。

宮城県国民健康保険運営協議会（第一回）が開催されました！ 保険料（税）統一に向けた実施時期は未記載のままに

10/27（水）県国民健康保険運営協議会（第一回）が開かれ、2021年4月からの県国保運営方針（案）内容が明らかになりました。懸念された国保料（税）の「統一化」については、今回の方針でも明記されませんでした。この背景には、自治体からの強い反発が読み取れます。また、現方針に運動で反映させた利用者の生活実態部分（被保険者所得）は、今回の方針では全削除されており、被保険者が過酷な状況ということを見逃し、保険者側の理論が強く反映された方針案となっています。

▶▶▶ パブリックコメント 10/28（水）～11/27（金）



コロナ禍・災害で感じた差別や生きづらさ“それでも地域で 私たちは生きていく”

みやぎアピール大行動2020 〈資料代 500円〉

2020年11月1日（日） ■集会 13:00-14:40 エルパーク仙台セミナーホール1・2
■デモ行進 15:30（予定） 元鍛冶丁公園集合・出発